

自然災害BCPの実施にむけて

-研修・訓練-

みやき町地域包括支援センター
主任介護支援専門員 牛島 久蔵

運営基準の記載内容

【1】感染症、自然災害の両方のBCPを作成する。

【2】研修、**訓練(シュミレーション)**の定期的な実施

入所系 : 年2回以上の研修、年2回以上の訓練

通所系、訪問系: 年1回以上の研修、年1回以上の訓練

「研修？」

「シュミレーションどうすれば？」

「避難訓練はしてるけど・・・」

研修

(1)防災意識の啓もう 最近の事例を共有するなどして、災害を理解する

(2)自宅の防災を教育

例：家具の転倒防止、水・食料の準備など

(3)・参集基準：ルールを教える。

できれば携帯カードなどを携帯する。

・行動基準：ルールを教える。

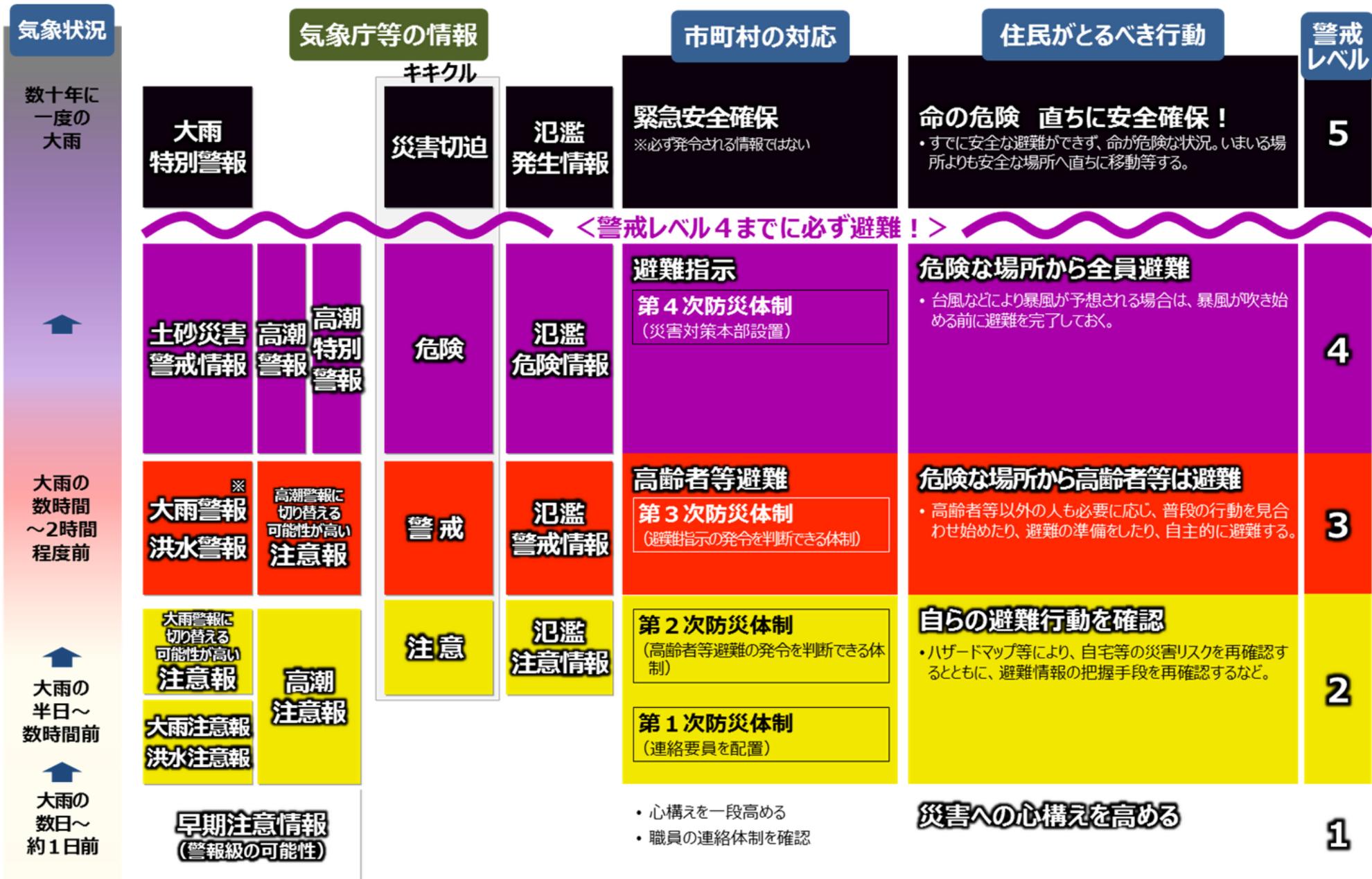
グループ討議などで、具体的に課題を話し合う。

例)訪問時に地震が来た時の行動を教える。

(4)安否確認の徹底：災害発生時の安否の連絡手段を教える。

できれば複数の連絡手段を教えるのが望ましい。

伝言ダイヤルなどの使い方は、携帯カードに記載する。



※ 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。



(前)



(後)

訓練

◎業務継続の流れは机上訓練で確認する

1. 防災訓練(避難訓練、初期消火、救出・救護)は、BCPの訓練ではない。
2. BCP訓練 机上訓練と実地訓練を実施する。
 - (1) 参集訓練 夜間帯、休日を想定し、対策本部員が事業所へ参集
 - (2) 対策本部設置訓練 災害が発生した想定で対策本部を設置
 - (3) 机上訓練 災害発生から復旧までの流れを机上で確認
 - (4) 安否確認訓練 施設内・外の職員等の安否を実際に確認
 - (5) 実働訓練(実地): 機器の操作等、マニュアルに沿って実際に実施
 - (6) 総合訓練: 地域等と協力し、一連の流れを確認

研修と訓練について

※利用者がサービスを継続するうえで居宅介護(予防)支援が重要な役割を果たすことを踏まえ、関係機関との連携に努める事が重要である。業務継続計画の策定、研修及び訓練の実施については、基準第18条の2に基づき事業所に実施が求められているものであるが、他のサービス事業者との連携等により行う事も差し支えない

本日の研修は、事業所内で改めて全職員へ周知をお願いします。

令和6年8月29日



みやき町自主避難所開設状況



避難所をご利用の方へ。
避難所をご利用の方は、受付を
行う必要があります。
受付は、1F総合案内で行って
いますので、必ずお越しください。



留意事項

この場所は、みやき町民の避難所として町が開放するものであり、利用者の皆様は下記事項に留意をお願いします。

記

- 1 避難所を利用される方は、必ず用意しております用紙に住所、氏名等の記入をお願いします。
- 2 避難の間、飲食物や寝具等身の回りの品は各自で用意をお願いします。
- 3 避難所では、基本的な衛生対策、避難者同士が十分な距離をとること（概ね2m）を心がけてください。
- 4 発熱やなどの痛みなどの症状がある場合は、すぐに避難所の担当者に報告してください。
- 5 自宅等へ戻られる際は、必ず帰宅時間の記入をお願いします。

みやき町長

自然災害BCP 平常時の対応 (みやき町地域包括支援センター)

- 発災時の安否確認や介護保険サービス利用の調整等が迅速にできるよう、平常時から災害時利用者台帳の整備、点検を行う。
- 職員は災害時の利用者の状況を踏まえて、サービス担当者会議等を活用し、本人・家族・サービス事業者・その他関係者と災害時対応時の情報共有に努める。
- 予測可能な災害(風水害等)においては、利用者避難一覧表【様式1】を作成し、事前の避難誘導や避難先の確認を行い、災害時の安否確認の際に活用する。

利用者避難一覧表【様式1】

	氏名	連絡先	避難先		担当CM
1	【行政区】	①	自宅 ・ 親族宅		
		②	指定避難所		
		③	介護サービス等		
2	【行政区】	①	自宅 ・ 親族宅		
		②	指定避難所		
		③	介護サービス等		
3	【行政区】	①	自宅 ・ 親族宅		
		②	指定避難所		
		③	介護サービス等		

台風が通過した後・・・。

「たいした事なくてよかった」

これからの思考

「予想以上の被害状況だったら」

「自分だけが出勤した状況だったら」

「誰とも連絡がとれなかったら」

台風10号が大規模な災害だったら

【BCP発動基準】

風水害時

大雨特別警報や土砂災害、洪水警報等が発表され、事業所や周辺地域の被害状況を確認した後、平時の業務遂行が困難であると判断した場合に、管理者又は代行者が発動し、ただちに災害対策チームを立ち上げる。

なぜ研修やシュミレーションが必要なのか

自分自身・家族・職員の命を守るため

緊急時の混乱を最小限に抑えるため

減算にならないため

できる事から始めていきましょう

地域ネットワーク等への参画

- 地域ネットワーク等への参画

発災時や長期化する被災状況に応じて、「みやき町社会福祉協議会 **災害ボランティアセンター**」と連携を図り、利用者や地域住民の支援を行っていく。また、近隣の社会福祉法人との連携体制を構築していく。

社会福祉協議会に確認を！